

私たちが取材しました



黒木 心平(9) 稲田 成那(9) 山下 薫子(11)
 杉田 礼香(10) 杉田 遥香(10) 甲斐 蓮彩(11)
 伊藤 柊介(9) 池田ひかり(10) 岡本 由愛(10)



③ 江平小学校 (宮崎市)

私たち宮崎市・江平小の4、5年生9人は「観光」をテーマに取材した。宮崎市には国内外から年間600万人を超える観光客が訪れる。青島やフローランテ宮崎、平和台公園で観光客の受け入れに携わる人たちに、観光地の歴史や魅力などについて話をうかがった。

テーマは「観光」

本県を代表するスポット 青島



青島の神話や歴史について説明する津曲兼孝さん(4年・伊藤柊介撮影)

日向神話の「海幸彦 一つたろう。島を取り囲む「鬼の洗濯板」と呼ばれる波の洗い場、約700万年の歴史を誇る青島神社の神宮、津曲兼孝さん(65)に話を聞いた。神社境内には山幸彦と豊玉姫が出会ったとされる井戸「玉の井」があり、縁結びを願う参拝者も多い。建物や門の飾りなどに小さなハートの形があり、探してみるのも楽しみの光景が多く、案内表記に

日向神話の「海幸彦 一つたろう。島を取り囲む「鬼の洗濯板」と呼ばれる波の洗い場、約700万年の歴史を誇る青島神社の神宮、津曲兼孝さん(65)に話を聞いた。神社境内には山幸彦と豊玉姫が出会ったとされる井戸「玉の井」があり、縁結びを願う参拝者も多い。建物や門の飾りなどに小さなハートの形があり、探してみるのも楽しみの光景が多く、案内表記に

神話、美しい景観人気



青島海岸の魅力について語る小玉順規さん(伊藤柊介撮影)

外国語を加えよう。地元の人の触れ合いも魅力で、漁師がセンターに魚を持ってきて、観光客にプレゼントすることもある。青島が今後、どうなっていくか、地元の人から来た人が地元の魅力を伝えていく。青島は、海と空の美しい景観が形成する美しい景観も人気という。かつては、新婚旅行のブームに沸いた時期があった。1974昭和49年のピーク時は37万組の新婚旅行客が訪れた。最近海外からの観光客も多く、案内表記に

宮崎市神話・観光ボランティアガイド協議会には30代約70人が登録し、青島や宮崎神宮など5カ所で観光ガイドを担っている。案内場所の一つである平和台公園で、協議会メンバーの黒木重信さん(77)に話をうかがった。

平和台公園は1940(昭和15)年に造られた公園だ。黒木さんは案内する際に、公園の歴史などをまとめた資料を配布。高さ36・4階の「平和の塔」は彫刻家の日名美三氏が設計したこと、64年の東京オリンピックピック聖火リレーの出发点になったこと、植樹作

知識深め魅力伝える



ガイドをする際は「笑顔で接するように心がけている」と話す黒木重信さん(4年・黒木心平撮影)

宮崎市神話・観光ボランティアガイド協議会

りに情熱を傾けた本部マサさんが、「はにわ園」の植園を製作したことなど、公園の魅力や歴史について、アナウンサーを講師に招き、話し方を学ぶこともある。幅広い年代からガイドの依頼があり、最近では修学旅行生も多い。宮崎には神話や伝説、美しい自然など、いろいろな魅力が詰まっています。その魅力を観光客に知ってもらうこと、これが目標です。『観光客に喜んでほしい』『また来たい』と、宮崎市の観光は、このように支えられていることが分かった。また平和台公園に行き、改めて黒木さんの話を聞きたいと思っ

フローランテ宮崎



街並みを再現した「見本園」の花壇で、植物の手入れをする職員(杉田礼香撮影)

四季折々の花、催し充実

宮崎市のフローランテ宮崎は、市民や観光客に花と緑の魅力を伝える推進拠点として、2000年4月29日(みどりの日)にオープンした。昨年25万人が来場したこの施設について、インフォメーション課長の黒木重信さんと、植栽課長の黒木重信さんに取材をした。5・1の敷地にある植物の数は、樹木や植替えの花も含め年間約15万本。植栽担当の職員は「四季折々のきれいな花を見てほしい」という思いで、たくさんのお客様に楽しんでほしいように、日々努力している職員の皆さん。来場者から「植物がきれいだ」と「イベントが面白かった」とコメントをもらった時に、やりがいを感じた。5年・甲斐蓮彩、4年・杉田遥香、4年・杉田礼香

宮崎市制100周年記念トークイベント

宮崎のミライを語る

2025年 1月12日(日) 14:00~16:00(13:00開場)

宮崎市民文化ホール 大ホール

入場無料 事前応募制

第1部 若者ミライ提言

第2部 みやざきミライトーク

出演者 伊藤 一彦 (いとう かずひこ)氏 堺 雅人 (さかい まさと)氏

【応募締切日】11月20日(水) 【募集】1,500人

【応募対象者】宮崎市にお住まいの方 ※学生・生徒等は市外在住であっても市内在学者であれば応募可能

【応募方法】専用フォームから申込(1つの申込につき最大2名まで申込可)。

また、専用フォームからの申込が困難な方は、下記の問合せ先(応募方法について)にお電話ください。

【当選者】応募者多数の場合は、抽選で観覧者を決定します。12月初旬頃、当選者には当選通知をハガキにてお知らせします。

【当日会場受付】当選ハガキを必ず持参し会場にお越しください。

問合せ先 イベントについて 宮崎市企画政策課 ☎0985-21-1711 応募方法について 株MRTアド ☎0985-22-3333

申込フォーム

宮崎市名誉市民・宮崎市栄誉賞について

宮崎市名誉市民 宮崎市栄誉賞

市民または本市にゆかりの深い者で、その功績が顕著である市民が深く尊敬に値すると認められる者に対し、市長が議会の議決を経て宮崎市名誉市民の称号を贈り功績を表彰します。

市民または本市にゆかりのある個人や団体で、スポーツ、文化、芸術等の分野において優秀な成績を収め、本市の名譽を高揚し、功績が顕著と認められた者に対して栄誉賞を表彰します。

宮崎市名誉市民 津村重光様

宮崎市栄誉賞【スポーツ部門】 押川義克様

宮崎市栄誉賞【文化芸術部門】 伊藤一彦様

宮崎市栄誉賞【文化芸術部門】 コブクロ様

宮崎市栄誉賞【文化芸術部門】 東村アキコ様

令和6年3月に千葉県で開催された「FIA マスターズスイング選手権大会2024 春季関東大会」に出場され、100m平泳ぎ(90~94歳クラス)において2分2秒91のタイムで世界新記録を達成。また、200m平泳ぎで日本記録を更新。更に50m平泳ぎで大会新記録を更新し、2,000人以上が出場した同大会の最優秀選手賞に選出された。

宮崎市出身の歌手。若山牧水記念文学館館長、宮崎県立図書館館長、これまで読売文学賞選考委員を務め、毎日新聞、産経新聞、西日本新聞、宮崎日日新聞、熊本日日新聞の歌壇評者を務める。現在も作詞活動を続けており、選定賞や日本歌人クラブ大賞をはじめ数多くの賞を受賞するなど、芸術振興に貢献し、その功績は顕著である。令和4年秋の叙勲において、旭日小綬章を受賞。

小淵健太郎氏(ギター・コーラス)と黒田俊介氏(ボーカル)の音楽デュオで、小淵氏が宮崎出身。平成22年7月にシングル「太陽のメロディー(他アーティストとの共同名義)」を発表し、県内で発生したCOVID-19の支援を行った。これまで日本レコード大賞や日本ゴールドディスク大賞をはじめ数多くの賞を受賞するなど、芸術振興に貢献し、その功績は顕著である。

宮崎市出身の漫画家。これまで文化庁メディア芸術祭大賞をはじめ、芸術振興文部科学大臣賞、アメリカのアイズナー賞最優秀アジア作品賞など数多くの賞を受賞。東村氏の作品は国内外で高い評価を得ており、その成果は本市の名譽を高揚し、功績が顕著である。また、本市の市制100周年記念ロゴマークデザインも手がけている。